

## Senescence-associated- $\beta$ -galactosidase staining following traumatic brain injury in the mouse cerebrum

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2021-02-02 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 富永, 禎弼 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.20780/00032734">https://doi.org/10.20780/00032734</a>

様式 (6)

## 学 位 審 査

学 位 番 号	乙 第 3089 号	氏 名	富永 禎弼
審 査 委 員 会	主 査 教 授	北川 一夫	
論文審査の要旨 (400 字以内)			
<p>外傷性脳損傷の病態を理解するため、脳外傷モデル動物を作成し老化関連酸性β-ガラクトシダーゼの発現を検討した研究である。脳外傷後 4、7、14 日目における老化関連酸性β-ガラクトシダーゼの発現が確認された。また細胞老化誘導に関わる p16・p21・Cyclin D1 の発現を免疫染色および Real time PCR 法を用いて検討したところ、Cyclin D1 は損傷後 4 日目に損傷群損傷側のニューロン、マイクログリア、アストロサイトに発現し、p16 は損傷後 7、14 日目に損傷群損傷側のアストロサイトに発現し、p21 は損傷後 4、7、14 日目に損傷群損傷側のニューロンとマイクログリアに発現することが明らかになった。外傷性脳損傷後、細胞周期が活性化され、その後細胞老化のマーカーが発現し、細胞周期が抑制されることが明らかになった。実験システムはよく考案されており、脳外傷に伴う細胞老化促進を示した点で、脳外傷患者の病態を考える上で貴重な研究であり、医学博士に相当すると判断する。</p>			
<p>本要旨は当該論文が第二次審査に合格した後の 1 週間以内に医学部学務課へご提出下さい。(本学学会雑誌に公表) [学校教育法学位規則第 8 条]</p>			